

「FMよみたん」リスナー調査

～コミュニティFMは地域にどのように根ざしているのか～

片野 ※※

※※※ KATANO

中京大学現代社会学部現代社会学科
学籍番号 ……………

沖縄県読谷村で開催される「読谷まつり」（2011年11月6日～7日）において、調査研究法を履修している片野・藪崎と他のゼミ生合わせて8名のゼミ生が、「FMよみたん」の要請にもとづいて、「FMよみたん」認知度の簡易アンケートを実施した。本報告はその結果である。

1. アンケート詳細

調査対象：読谷まつり来場者

実施期間：読谷まつり開催日（2010年11月6日～7日）

回収枚数：590枚（6日：287枚、7日：303枚）

質問内容

- ①年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
- ②性別 男性 女性
- ③住居エリア （市町村名 ） 村内の方→（字 ）
- ④FMよみたんを聞いたことがありますか？ はい いいえ
- ⑤FMよみたんを聞いている場所 自宅 車 店舗 その他（ ）
- ⑥よく聞いている時間帯は？ （ ）
- ⑦インターネット放送(Ustream)があるのをご存知ですか？ はい いいえ
- ⑧記憶に残る番組・CMは？
- ⑨その他、ご意見ご感想がございましたらお聞かせください。

読谷まつり：読谷村の偉大な先人・泰期と赤犬子の二大モチーフを掲げて開催される読谷村最大規模のまつりであり、古典音楽愛好家による演奏会や琉舞などが披露されるステージイベントなど多彩なプログラムが催され、たくさんの人でにぎわう。

FMよみたん：沖縄県読谷村に開局したコミュニティFMラジオ局。沖縄の読谷地域に根ざしたコミュニティFMラジオを目指している。（HP：<http://www.fmyomitan.co.jp/>）周波数FM78.6 MHz。

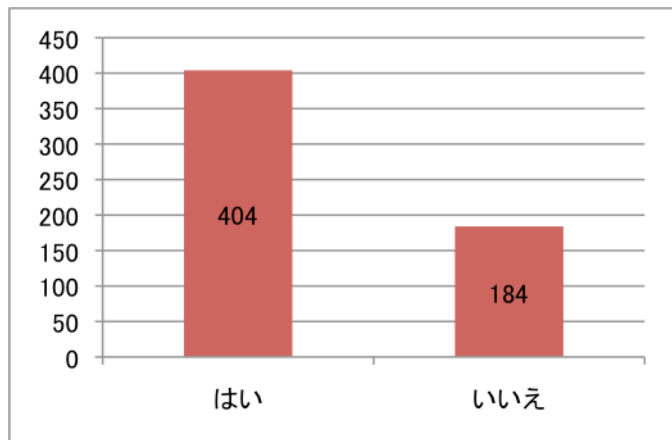
アンケートの改善点

- ・回収枚数の不足
- ・質問内容の曖昧さの改善
- ・記述回答を選択式に変える

2. 調査結果

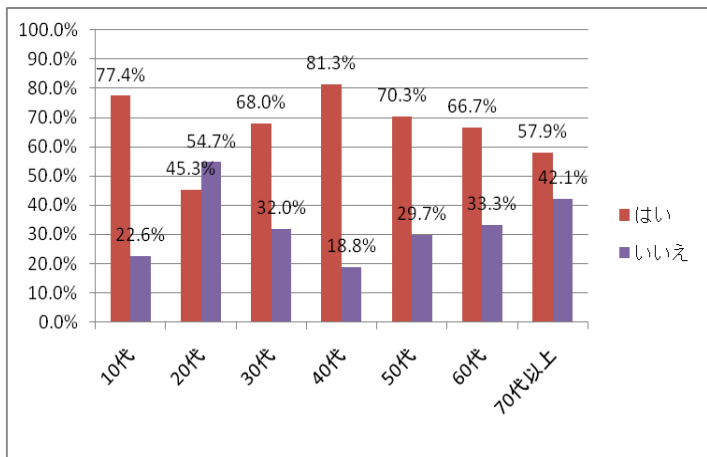
聞いたことがある	はい	いいえ	無記入	合計
数	404	184	2	590

約7割の人がFMよみたんを聞いたことがあると回答。読谷まつり会場で中継放送を行っていたことも関係あると考える。習慣的に聞いているかどうかは不明。しかし、ラジオが聞かれなくなっている時代にコミュニティラジオの認知度としてはかなり高いものだと考える。大きなAM、FMラジオ局が存在する中、コミュニティラジオの認知度がここまで高いのは沖縄はラジオ文化が未だに続いているからだろうか。



①年代

	はい	いいえ	合計
10代	137	40	177
	77.4%	22.6%	100.0%
20代	48	58	106
	45.3%	54.7%	100.0%
30代	66	31	97
	68.0%	32.0%	100.0%
40代	65	15	80
	81.3%	18.8%	100.0%
50代	45	19	64
	70.3%	29.7%	100.0%
60代	26	13	39
	66.7%	33.3%	100.0%
70代以上	11	8	19
	57.9%	42.1%	100.0%



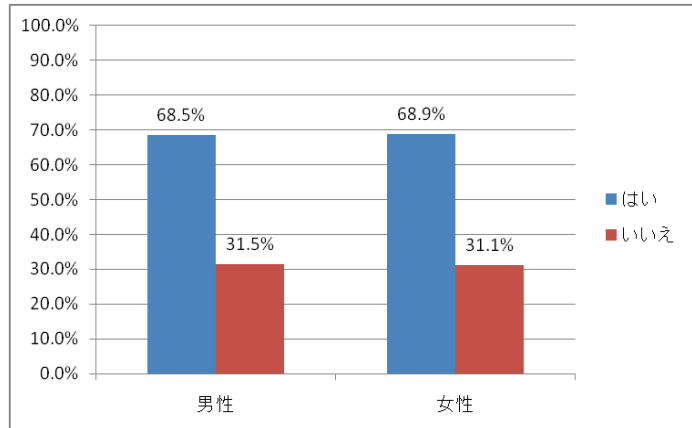
このグラフから、20代以外の年代ではFMよみたんを聞いたことがある割合が高いことがわかる。気を付ける点は、この結果は、習慣的にFMよみたんを聞いている人数を示すものではない。この結果が示しているものはあくまでもFMよみたんを聞いたことがあるかどうかで、聴取率ではなく、認知度である。ラジオ離れが進んでいるという10代の77.4%が聞いたことがあるとの回答は珍しいものではないだろうか。また、40代、50代の割合も高い。このことから、10代は親と一緒にラジオを聞いている可能性があると考えられる。20代の割合が低い要因として、FMよみたんの開局時にラジオに接する機会の多いであろう10代ではなかったために、聞く機会があまりなかったからではないだろうか。

②性別

	はい	いいえ	合計
男性	152	70	222
	68.5%	31.5%	100.0%
女性	248	112	360
	68.9%	31.1%	100.0%

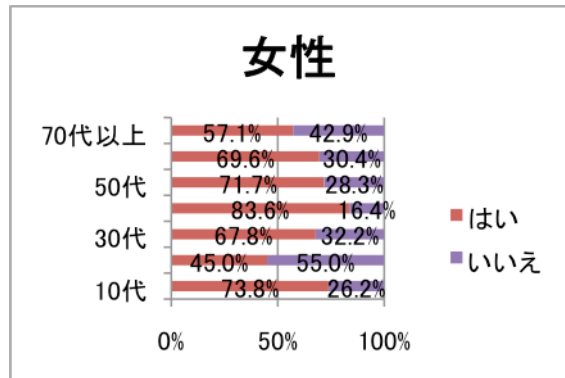
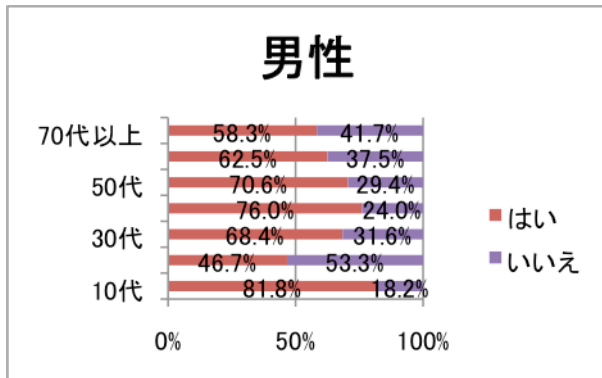
(はい、いいえは質問内容④の回答)

性別に大きな差は見られず、どちらも約7割が聞いたことがあると回答している。



①、②の二つの項目の相関性

	はい(男性)	いいえ(男性)	合計	はい(女性)	いいえ(女性)	合計
10代	54	12	66	79	28	107
	81.8%	18.2%	100.0%	73.8%	26.2%	100.0%
20代	21	24	45	27	33	60
	46.7%	53.3%	100.0%	45.0%	55.0%	100.0%
30代	26	12	38	40	19	59
	68.4%	31.6%	100.0%	67.8%	32.2%	100.0%
40代	19	6	25	46	9	55
	76.0%	24.0%	100.0%	83.6%	16.4%	100.0%
50代	12	5	17	33	13	46
	70.6%	29.4%	100.0%	71.7%	28.3%	100.0%
60代	10	6	16	16	7	23
	62.5%	37.5%	100.0%	69.6%	30.4%	100.0%
70代以上	7	5	12	4	3	7
	58.3%	41.7%	100.0%	57.1%	42.9%	100.0%



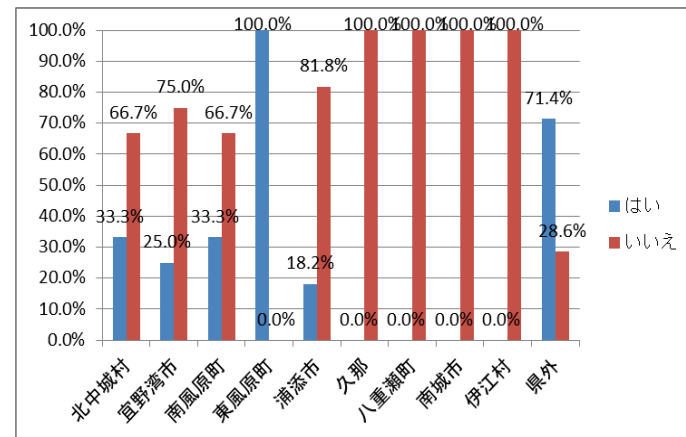
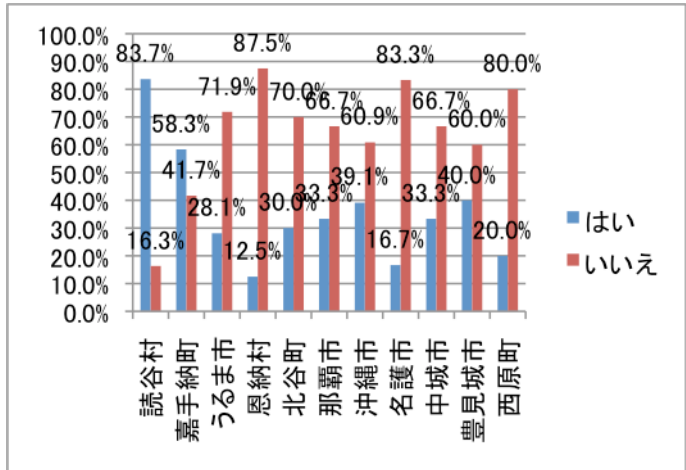
(はい、いいえは質問内容④の回答)

10代、20代、70代以上は男性の方が聞いているが、30代、40代、50代では女性の方が多い。これらの年代の女性は主婦として自宅にいるなど、ラジオに接する機会が多いからではないだろうか。やはり、どの世代、性別でもFMよみたんの認知度は高く、ラジオが衰退し始めているメディアではないのでは、と思わせるほど。

一番聞いているのは40代の女性、次に10代の男性と幅広い人に聞かれていることがわかる。せっかくのリスナーを離さないためにも、様々な対象の番組作りが重要になってくると考える。

③住居エリア

	はい	いいえ	合計
読谷村	343	67	410
	83.7%	16.3%	100.0%
嘉手納町	14	10	24
	58.3%	41.7%	100.0%
うるま市	9	23	32
	28.1%	71.9%	100.0%
恩納村	1	7	8
	12.5%	87.5%	100.0%
北谷町	3	7	10
	30.0%	70.0%	100.0%
那覇市	6	12	18
	33.3%	66.7%	100.0%
沖縄市	9	14	23
	39.1%	60.9%	100.0%
名護市	1	5	6
	16.7%	83.3%	100.0%
中城市	1	2	3
	33.3%	66.7%	100.0%
豊見城市	2	3	5
	40.0%	60.0%	100.0%
西原町	1	4	5
	20.0%	80.0%	100.0%
北中城村	1	2	3
	33.3%	66.7%	100.0%
宜野湾市	3	9	12
	25.0%	75.0%	100.0%
南風原町	1	2	3
	33.3%	66.7%	100.0%
東風原町	1	0	1
	100.0%	0.0%	100.0%
浦添市	2	9	11
	18.2%	81.8%	100.0%
久那	0	1	1
	0.0%	100.0%	100.0%
八重瀬町	0	1	1
	0.0%	100.0%	100.0%
南城市	0	2	2
	0.0%	100.0%	100.0%
伊江村	0	1	1
	0.0%	100.0%	100.0%
県外	5	2	7
	71.4%	28.6%	100.0%



(はい、いいえは質問内容④の回答)

読谷まつり開催地であり、FMよみたんの電波内である読谷村での認知度はかなり高い。まつりの規模や、住人のまつりに対する意気込みなどから住人の地元愛がかなり強いだろうことから、この認知度の高さはほかの地域では見られないのではないだろうか。読谷村では、AM局やFM局と並んで、コミュニティーラジオが生活において重要視されているのかもしれない。

アンケート実施中にも自宅にまで電波が届かないという声を何度も聞いた。コミュニティーラジオである以上、放送範囲を広げることは難しいだろうが、そのような声は貴重なものである。

④聞いている場所

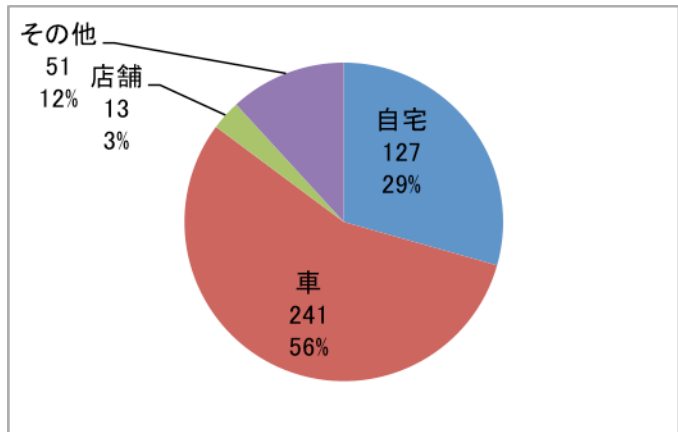
場所	自宅	車	店舗	その他	合計
数	127	241	13	51	432

ラジオが聞かれている場所

として一般的に自宅（自室）と車が挙げられるが、この調査でも同じような結果が出た。

その他の中には学校や公民館、役場、畑、塾、歩きながらなどがあり、様々な場所で聞かれていることがわかる。

問題点として、ラジオを聞いている場所なのか、FMよみたんを聞いている場所なのかがわからないことを挙げる。

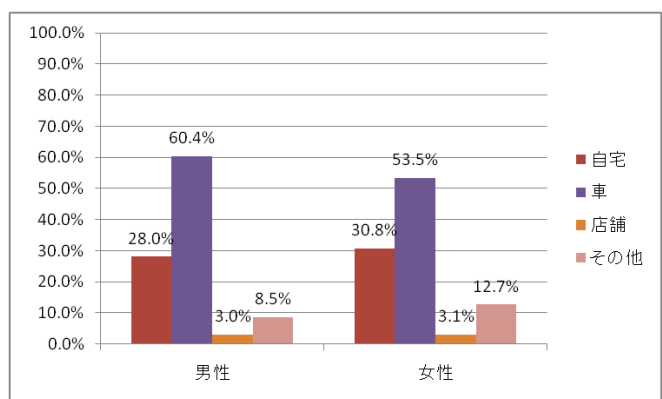


(グラフの数字は場所、数、割合)

(複数回答があるため、聞いている人の合計よりも合計が多い)

(1) 男女比

	男性	女性
自宅	46	80
	28.0%	30.8%
車	99	139
	60.4%	53.5%
店舗	5	8
	3.0%	3.1%
その他	14	33
	8.5%	12.7%
合計	164	260
	100.0%	100.0%



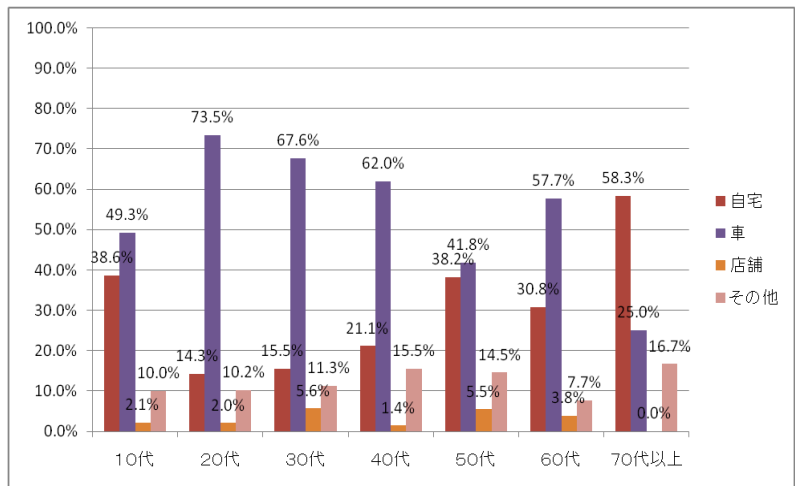
男性、女性ともに車、自宅で聞いている割合が高い。アンケートに複数回答かどうかの注意書きがなかったため、正確な数値ではないが、やはり、車の中で聞いている人が多いことがわかる。男性よりも女性の方が自宅で聞いている割合が高いと思っていたが、若干女性が高いだけでどちらも約3割が自宅で聞いており、主婦が自宅で聞く割合が特別高いわけではないのかもしれない。また、男性、女性ともに車の中で聞いている割合が高いことから、車社会が進んでいることが予

測される。店舗での割合が低いのは、ラジオはたくさんの方がいる空間で聞くメディアではないからだろうか。ラジオはみんなで聞くのではなく、個人（または少数）で聞くものになったと考えると、自宅や車といったある意味閉鎖的な空間で聞いている割合が高いことに関係していると考えられる。

(2) 年代比

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
自宅	54	7	11	15	21	8	7
	38.6%	14.3%	15.5%	21.1%	38.2%	30.8%	58.3%
車	69	36	48	44	23	15	3
	49.3%	73.5%	67.6%	62.0%	41.8%	57.7%	25.0%
店舗	3	1	4	1	3	1	0
	2.1%	2.0%	5.6%	1.4%	5.5%	3.8%	0.0%
その他	14	5	8	11	8	2	2
	10.0%	10.2%	11.3%	15.5%	14.5%	7.7%	16.7%
合計	140	49	71	71	55	26	12
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

70代以上を除くどの年代も車の回答が多いが、10代、50代は自宅の回答もかなり多い。車で移動が多くない10代の車の回答は親と一緒に聞いている場合が多いと考える。50代では、やはり主婦の存在が関係しているのかもしれない。

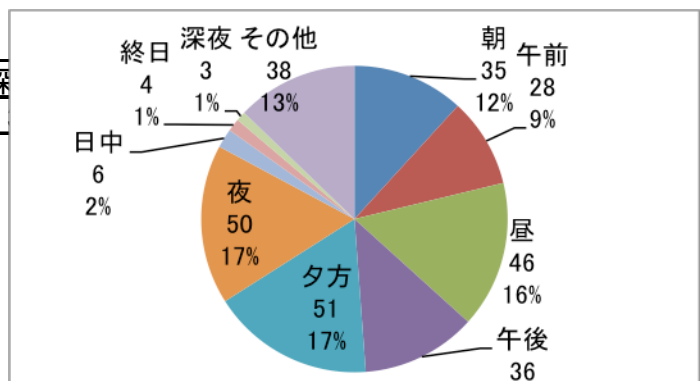


男女比では見られなかったのは、20代~40代の回答が少なかったからだと考えられる。自宅でラジオを聞くのは、学生と主婦が中心となっているのかもしれない。20代~40代では、仕事で自宅にいる時間が短いため、移動中の車の中でラジオを聞く割合が自宅よりも高いと考えられる。

⑤時間帯

時間帯	朝	午前	昼	午後	夕方
数	35	28	46	36	51

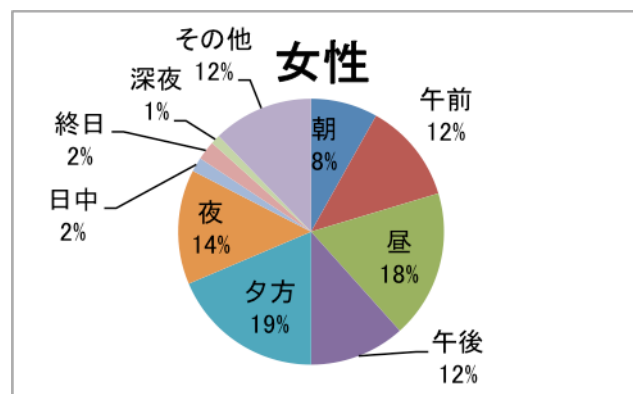
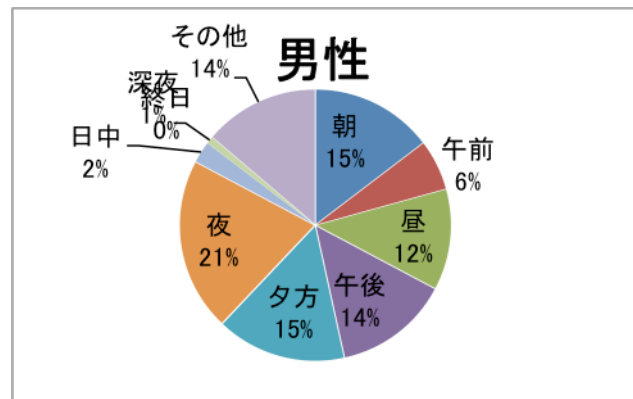
夜	日中	終日	深夜
50	6	4	3



自由回答をまとめたため、正確なデータではない。傾向としては、夕方～夜にかけて聞いている人が多い。しかしどの時間帯（日中、終日、深夜を除く）も大きな差はないため、ほぼ1日中間かれているということがわかる。

(1) 男女比

(2)	男性	女性
朝	17	14
	14.7%	8.1%
午前	7	21
	6.0%	12.2%
昼	14	31
	12.1%	18.0%
午後	16	20
	13.8%	11.6%
夕方	18	32
	15.5%	18.6%
夜	24	24
	20.7%	14.0%
日中	3	3
	2.6%	1.7%
終日	0	4
	0.0%	2.3%
深夜	1	2
	0.9%	1.2%
その他	16	21
	13.8%	12.2%
合計	116	172
夜	100.0%	100.0%

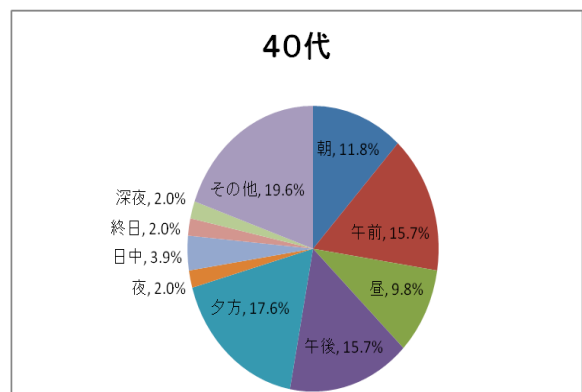
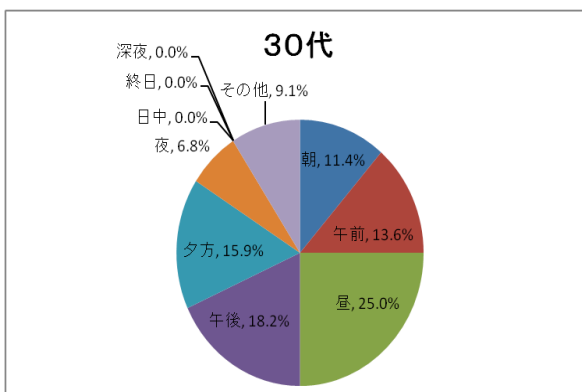
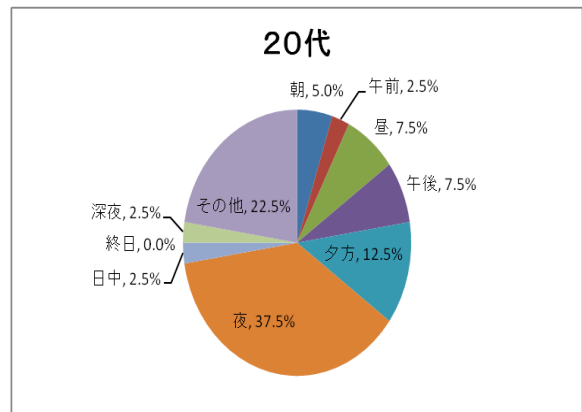
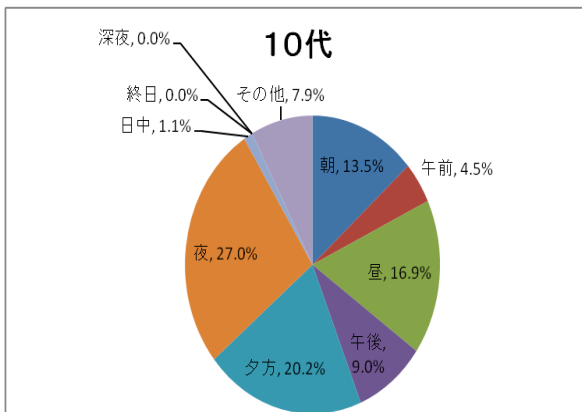


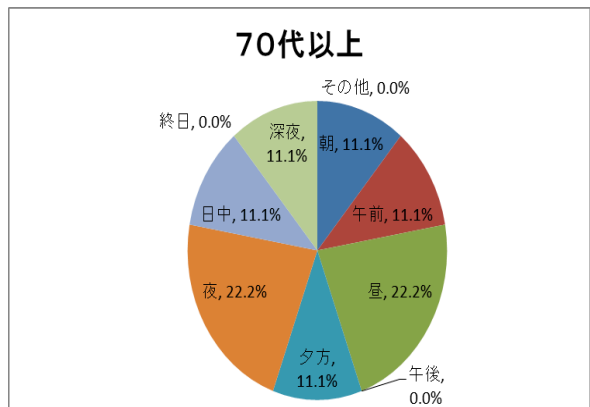
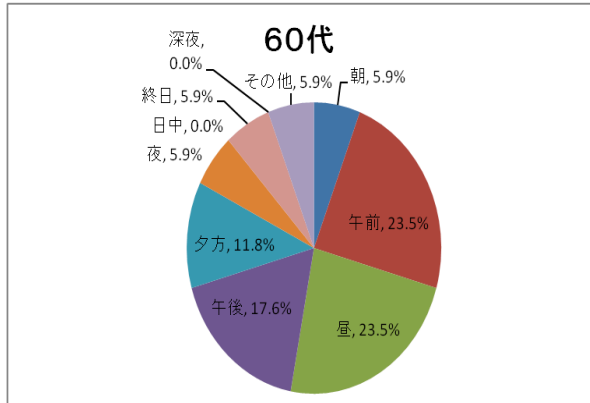
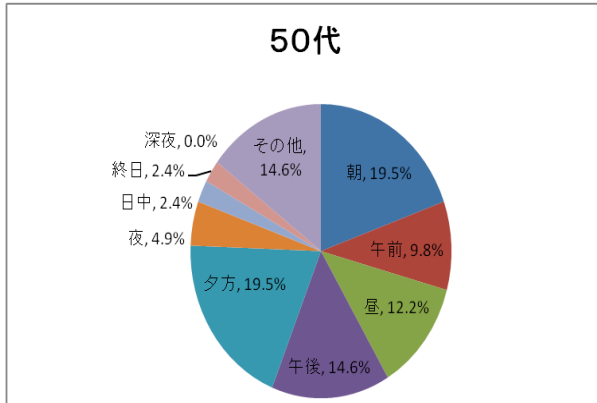
の割合が高く、仕事が終わってから自宅または車の中で聞いていると考えられる。また通勤時間帯である朝や帰宅時間帯である夕方では車の中で聞いている人が多いのではないだろうか。

女性は、朝の割合が低く、これは男性と違い、朝に車に乗る機会が少ないからだと考える。また、昼の割合が高く、やはりここにも主婦の存在が関係していると考えられる。

(2) 年代比

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
朝	12 13.5%	2 5.0%	5 11.4%	6 11.8%	8 19.5%	1 5.9%	1 11.1%
午前	4 4.5%	1 2.5%	6 13.6%	8 15.7%	4 9.8%	4 23.5%	1 11.1%
昼	15 16.9%	3 7.5%	11 25.0%	5 9.8%	5 12.2%	4 23.5%	2 22.2%
午後	8 9.0%	3 7.5%	8 18.2%	8 15.7%	6 14.6%	3 17.6%	0 0.0%
夕方	18 20.2%	5 12.5%	7 15.9%	9 17.6%	8 19.5%	2 11.8%	1 11.1%
夜	24 27.0%	15 37.5%	3 6.8%	1 2.0%	2 4.9%	1 5.9%	2 22.2%
日中	1 1.1%	1 2.5%	0 0.0%	2 3.9%	1 2.4%	0 0.0%	1 11.1%
終日	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.4%	1 5.9%	0 0.0%
深夜	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
その他	7 7.9%	9 22.5%	4 9.1%	10 19.6%	6 14.6%	1 5.9%	0 0.0%
合計	89 100.0%	40 100.0%	44 100.0%	51 100.0%	41 100.0%	17 100.0%	9 100.0%





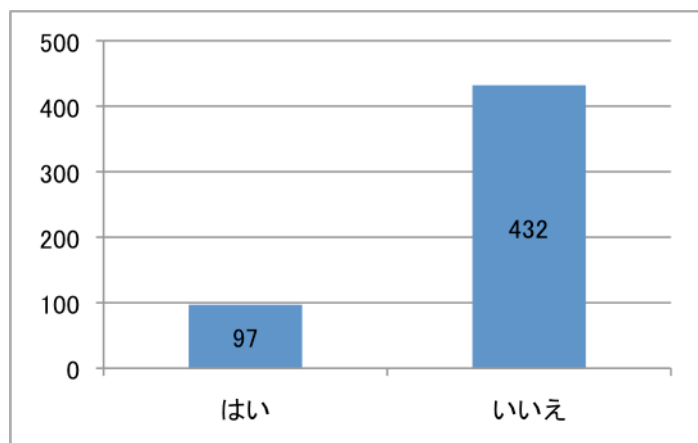
10代は夕方～夜に聞いている割合が高く、これは学校から帰ってきてから聞く人が多いとわかる。また、20代も夕方～夜の割合が圧倒的に高く、午前中や午後に聞いている割合はかなり低い。仕事が終わってから聞く人が多く、通勤中にはあまり聞かれていないのかもしれない。30代以降は夜の割合が低くなる。30代では昼の割合が最も高くなっている。40代では朝～夕方までほぼ同じくらいの割合になっている。50代では朝と夕方の割合が高い。60代は午前、昼の割合が高くなっている。この違いは生活リズムの違いが関係しているだろうが、好む番組の違いも影響していると考えられる。

このアンケートでは、回答数が少ないため、偏った結果になっていることに気を付けたい。

⑥インターネット放送（Ustream）があるのを知っているか

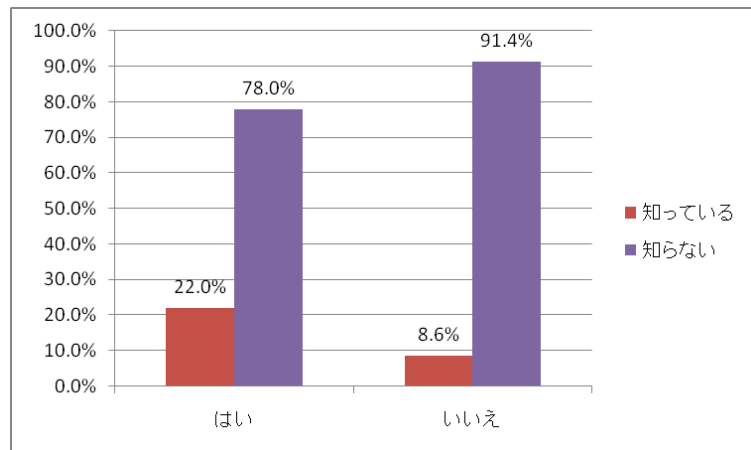
Ustream	はい	いいえ	無記入	合計
数	97	432	61	590

圧倒的にいいえ回答が多い。
この質問はUstreamを知っているのか、FMよみたんがインターネット放送をしているのを知っているのか、はっきりしていない。しかし、どちらの意味でも、認知度はかなり



低いと言える。

	はい	いいえ
知っている	85	12
	22.0%	8.6%
知らない	301	128
	78.0%	91.4%
合計	386	140
	100.0%	100.0%



(はい、いいえは質問内容④の回答)

ラジオを聞いている人の中には、Ustream放送を知っている人もいたが、約2割と少ない。ラジオを聞かない人はそもそもそのようなサービス自体に興味がないのか、ほとんどの人が知らなかった。Ustream放送を知っていると回答した人の中には知っているが聞いたことはない人も含まれていると考える。ラジオで電波が受信でき、放送が聞ける人にとっては、わざわざインターネットで同じ放送を聞こうとは思わないのではないだろうか。また、Ustreamでは、映像も視聴できるが、ラジオを聞く人が映像を求めているとは考えにくい。知っているかどうかだけでなく、実際に聞いたことがあるかどうか調査が必要だったと考える。

3. 参加者の意見、感想

まず、このアンケート結果に驚いたことはその視聴率。アンケートを取っているときから気づいてはいたが、本当に聞いたことがある人が多い。数値にも出ている通り、過半数以上の人聞いたことがあると答えている。テレビ、インターネットなどが普及してきた現代、ラジオは生存に難しいメディアであると言われていたが読谷村ではまだまだ元気のあるメディアであった。

このアンケートを実施、そして読み解くに当たって気付いたことがあった。

ラジオを聴く場所で一番多かったのが「車」。沖縄にはモノレールが都心にはあるが、少し街を離れるとモノレールもない。公共交通機関はバスだけなので、車の数がとても多い。那覇市内でも名古屋と同じくらいの車の量であった。街を離れても、車の数はなかなか減らない。それだけの車社会の中で一番ラジオが聞かれている場所が「車」というのは納得がいった。特に20代～40代の人たちが「車」の中で聞いている率が高かった。『「車」の中でFMよみたんを聴く』というのは、読谷村の地形にも関係しているとも考えられる。読谷村は地形が台地になっているので、Fmよみたんの放送電波の死角が生じ、放送を聴くことのできない地域があることが問題とされていた。そこで、移動可能な車であれば、

その放送電波の死角の地域に住んでいる人でも車の移動中にFM よみたんを聴いている、という事態があると考えられる。

もうひとつは、FM よみたんテーマソング「ナナジュウハッテンロック」の威力。アンケート内容のひとつに、「記憶に残る番組・CM は？」という質問がある。そこに多く書かれていたのが、「ナナジュウハッテンロック」だ。この曲は、FM よみたんでは放送中、何時でも57分になるとこの曲が流れる。とても覚えやすい曲調になっており、歌詞も読谷村のことになっている。これがひとつのFM よみたんをみんなに覚えてもらえる武器になっているには間違いない。アンケートをとっているときにでも、「FM よみたん？ああ、あの曲のね！」と「ナナジュウハッテンロック」から思い出す人たかもいたほどだ。話によると、保育園のお遊戯などでもこれを使うこともあるそうで、ここでもコミュニティーラジオとしてしっかり地域に根付いていることが分かる。インターンに数日間行っていた私たちの中でもよく思い出される曲となっている。

アンケートを実施しているときに感じたことは、アンケートに協力してくれる人たちは「FM よみたん」の名前を聞いて協力してくれている、ということだった。アンケートをとり始めたとき、「アンケートにご協力お願いします！」と言ってもほとんどの人があまり協力してくれなかった。（これは私のアンケートの仕方がただ悪かっただけだが。）しかし、「FM よみたんの者なんです、アンケートにご協力していただけないでしょうか？」と尋ねると、「FM よみたんね！」といって協力してくれる人たちがたくさんいたのだ。アンケートに協力していただいたお礼にFM よみたんのステッカーをプレゼントしていたのだが、これも喜んでもらっていく人たちが多くいた。これはすなわち「FM よみたん」がそれだけ読谷村でコミュニティーラジオとして根付いている、ということだと思う。中には「いつも聞いているよ。がんばってね!」、「電波が家まで届かなくて聞けなくて残念だよ。」などといった声もかけていただいた。

地域に根付き、社員数人と地域の人たちの協力の上で成り立っているコミュニティーラジオ局「FM よみたん」。しっかりと読谷村の村民たちからの支持を集め運営されていくその小さな会社からは、「村」ならではの地域の結束力から生まれる大きなパワーをとて強く感じた。

市川 聖（2年）

今回のインターンシップにて行なわれたアンケート調査の結果を見ても言えることは、男女ともに聴取率が7割程度と非常に高いということが挙げられる。特に10代の聴取率が77.8%となっており、ラジオを聞く機会が減った現代においてこれほどの数の若者がラジオを聞いているというというのは素晴らしいことである。若者からの支持を獲得することは、長期にわたって聴取率を得ていくことに繋がっていくため、今後の番組制作において非常に重要なことになるだろう。しかし20代の聴取率が45.3%と、唯一半数を切っていることにも注目しなければならない。30代になると聴取率が回復していることから、おそらく20代では社会に出てから日が浅く、仕事など日々の忙しさに追われラジオを聞いている余裕がないということが原因ではないだろうか。この問題を解決するためには、沖縄での主な通勤手段が車であるということを利用すべきである。今回のアンケートからも分かるように、ラジオを聞いている場所では、車が6割を占めている。つまり、車こそ最もラジオを聞きやすい空間であるということが出来るだろう。そこで、道路沿いにFM よみたんの看板を設置してPRする又は渋滞や工事などの道路状況などを車を運転する人にとってうれしい情報を発信する番組を制作するなどといった対策を取ることで20代の聴取率も自ずと上がっていくと考える。

伊藤 貴稔（2年）

今回のFM よみたんのアンケート結果を見てみると、まず男女どちらとも約70%の人が聞いたことがあると解答しており、FM よみたんの認知度は高いと言える。

しかし、年代別のグラフを見ると、20代が唯一、聞いているよりも聞いていないの方が上回っているということに注目すべきだろう。この年代の好む番組が少ないのか、単にラジオへの関心が低いのかなど理由は様々あるのでは。

また聞いている場所については、男女とも似たようなグラフの形をしており、特に車の中で聞くという答えが多いことがわかる。これは沖縄が車で移動が多い車社会であるということが理由の一つとして挙げられるのではないだろうか。年代別のグラフでは、自分の車なのか親の車なのかの違いはあるだろうが、10代でも半数近くが車で聞いていると答えているのに注目したい。

時間帯ではやはり午後から夜にかけてが多いが、年代が上にいくに連れて午前中に聞く率が高くなっている。これは番組が理由なのか、生活リズムの関係か。また30代の昼の聴取率がある程度高いのに理由はあるのだろうか。

住居エリア別を見てみると、読谷村は問題なさそうだが、他のエリアが低いとわかる。FMよみたんの聞ける範囲が限られているので聞いている人が少ないのは当然だが、認知度は高いのもっと範囲等が広がり聞けるようになれば良いのではないだろうか。実際アンケートをとっていても、「聞きたいけど入らない」「もっと範囲を広げて欲しい」などの意見は多くの人から寄せられた。

このアンケートについては、

●アンケート総数が少ない

○聞く年代に偏りがある

●時間帯の質問では選択式のほうがまとめやすかったのでは

○インターネット放送についての質問は、Ustreamを知っているかを聞きたいのか、FMよみたんのネット配信を知っているかを聞きたいのかわかりにくかった

●場所、時間帯などは複数選択可でもよかったのでは

○「FMよみたんを聞いたことがあるか」も大切だが、「毎日・ときどき・あんまり・ほとんど」等、頻度についての質問もあって良かったのでは

といった問題点、改善点があると私は考える。

感想としてはこのアンケートがある程度内容のあるものではないかと感じた。不特定多数の人に向けて放送するラジオで、どれだけの人が聞いているのか少しでも感じとれれば、これからに生かせるものは多いだろう。聞いている人が日頃どう感じ、思いながら聞いているかも知ることが出来ただろう。そして今回が初のアンケート調査だったが、これからも続けて行なっていければ、前回とどう変わったのかなど、より詳しく分析できる。私としては、ますますインターネットが広がり進化している現代で、ネットラジオはそうなるのか、FMよみたんと言えばUstream放送は認知されていくのか、アンケートを通して知ることが出来ればと考える。

飯田 直哉（2年）

アンケートを実際、実施してみて、まだ歴史は浅いのに“FMよみたん”の知名度は高いと思いました。特に、読谷村の聴衆者率の高さ、特に10代が多いことに驚いた。アンケート結果からは読み取れないが、実際アンケートを取って生の声を聞くと、10代の人“ラジオを聴く”という習慣は、親からの影響が多いようだ。

また、近所から聞こえてくるという意見もあった。聞いている場所に関しては、やはり沖縄は“車社会”というだけのこととあり、車で聞くことが多いようだ。私たちのまわりでは、まず車に乗ったら“ラジオを付ける”という習慣はないだろう。

ラジオを聞く時間帯に関しては、やはり10代や20代は学校へ行く都合もあり、夜型。主婦層などは昼型が多いという結果が目立つ傾向にある。FMよみたんを県外から来ている人が聞いているという結果は、親戚が沖縄の方がいて沖縄に来たときに聞いているという声もあった。まだ、Ustreamでの配信を知らない方が多かった。FMよみたんを聞く人は、気軽さ・手軽さ重視をする人が多いのではないかと思います。

資料

記憶に残る番組・CM

番組名	票数		票数
ナナジュウハッテンロック	47票	けいこ先生	3票
ローヤルレストラン	1票	沖縄県の歌	1票
アニラジ	1票	読谷商工会	1票
学校紹介	1票	えいご	1票
歌番組	11票	月曜5時	1票
悦子さん、添石さん	1票	むら咲むら	1票
初恋クロマニヨンのおじさんとギター	1票	ゆんたんじゃ出番ですよ	2票
キロロの番組	3票	あなたと一緒にこの街で	1票
ハッピーアイランド	1票	男性3人くらいで笑える番組	1票
ハッピーウエズデー	2票	AM11:00～	1票
していーさーじパラダイス	1票	いかりさん	1票
べっぴんアフター	1票	漁港がでたとき	1票
嘉手納高校の番組	1票	ハーリーのとき	1票
まりこ 外!	1票	紅イモタイガーマスク	4票
介護	1票	コーラス	1票
ウォーキング	1票	ゴールデン・アワー	1票
じぞうのハーエーゴンゴン	4票	サタデースクール	3票
ユビキタス	1票	古堅の女子ソフトがでたこと	4票
レストテン泰期	1票	選挙	1票
音十色 元祖レモンティー	1票	Te-Da	2票
ラビット	1票	そら	1票
西海岸サンセットミュージック	1票	民謡	1票
		ゆんたくククルリゾート	1票
		残パ	1票